

みどりの風

令和2年5月21日（木） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

緑の誓い：「さわやかにあいさつをします」の定着

「おはようございます。」

遠くから、さわやかなあいさつの声が届くと、とても気持ちよくなります。中には私の目の前までやって来て、ペコリとお辞儀をしながらあいさつしてくれる子もいます。毎朝の校門での様子です。改めて、どの子にも、さわやかにあいさつする習慣を付けさせたいと願います。将来、社会人として自立していく子ども達に、絶対に身に付けさせたい資質であり、**いつでも・どこでも・誰にでも・時と場に応じてあいさつできる力**を徹底して育てたいと思います。そのための第一歩は適切な生活リズムの確立にあると考えています。

四百人を超える子ども達が校門をくぐって登校してきますが、全員がさわやかなあいさつをしているかという点、そうではありません。大きな声が出なかったり、目を合わせることができなかったり……。中には、こちらのあいさつに反応しないまま、さっと通り過ぎる子もいます。きちんとあいさつができない子に共通するのが「元気の無さ」です。まだ、はっきりと目が覚めていない状態で登校してくる子は、当然、外からの刺激に瞬時に反応できません。まだ脳が起きていないからです。ですから、声を出してあいさつしようと思ってもできないのです。反対に、早起きして朝食をしっかり摂り、余裕を持って登校して来る子は総じて元気があり小走りでやって来ます。声を出す準備が身体に整っているため、大きな声でさわやかにあいさつできるのです。



朝の校門での様子

やっぱり、**早寝・早起き・朝ごはん**が大事です。これに**「家庭内あいさつ運動」**が加われば、必ず、あいさつが定着すると考えます。ご協力をよろしくお願いします。

植物を育てることの効果

校舎及び校地の改修工事のため、現在、緑丘小には「学校園」や「学年・学級園」がありません。学習材として植物を育てることが必要なため、プランターによる栽培を行っています。1年生は朝顔、2年生はミニトマト……。一生懸命に育てようとする姿はとても微笑ましく、子ども達を優しくしてくれるように感じます。土を触ると、何故かしらキレル子どもがいなくなるような気がしてなりません。自然と一体化するからなのでしょう？

歩いて登校することに慣れていない1年生は、学校に着くとグッタリしています。でも、「朝顔に水をあげて」と声をかけると、途端に元気になります。中庭のプランターに水をあげる姿は、とってもとってもかわいいです。



朝顔さん、大きくなーれ！！